

- ① 憲法ニ依リテハ、利潤、ハ、大體ハ、意見ニ、利潤統制ニシテ、物價ニ
- ② 凡そ、物價水準、中心、置キ、不即、物價、率、一、年、一、年、率、石、物、價、率、一、年、一、年、率、
- ③ 爲、改、政、策、重、要、性、強、弱、ニ、爲、階、段、弄、年、率、現、況、シ、補、正、改、正、一、年、一、年、率、
- ④ 生産増進、中心、置キ、物價、率、一、年、一、年、率、現、況、シ、補、正、改、正、一、年、一、年、率、(戦力増進)

16

皇國ノ物價政策ハ支那等變動以來低物價堅持ノ基調ノ下ニ中央物價
 委員會決定ノ「物價統制大綱」ニ基キ國際物價水準ニ照應シ輸出増進
 ラ可能ナラシムルコトヲ目標トシ施策シ來リタルモ昭和十四年十月第
 二次歐洲大戰ノ勃發ニ伴フ諸般ノ情勢ノ變化ニ即應シ政府ハ價格統
 具ノ構成要素ノ停止ヲ眼目トスル價格等統制令具ノ他ノ法令ヲ公布シ
 爾來極力當時ノ物價水準ノ維持ヲ目途トシ自主的物價ノ建設ニ邁進シ
 來リタルハ著シ機宜ニ適シタルモノナリ、然レドモ其ノ間ニ在リテモ
 皇國經濟ノ實情ハ皇國物價ノ國際物價ヨリノ完全ナル離脱ヲ許サズ目
 主の物價ノ建設ハ絶エズ維持サレツツアリタルモ昭和十六年七月米英

大東亞共榮圈確立ニ伴ヒ價格形成上採ルべき方策
 一七一一、四

等ノ對日畜産凍結與ニハ大東亞戦争ノ勃發ニ因リ米英等トノ連繫ハ完
全ニ遮斷サレ茲ニ大東亞共榮圈ヲ一丸トスル目足目給經濟ノ勢足ヲ見
ルニ至レリ、依ツテ政府ハ斯ル情勢ニ即應スル價格形成方策及之ニ關
聯スル方策ヲ樹立實施シテ自主的物價ヲ建設シ以テ大東亞戦争遂行力
ノ急速ナル増強ヲ圖ルト共ニ大東亞共榮圈ノ恒久的建設ヲ促進スルコ
ト肝要ナリ
而シテ其ノ方策左記ノ如シ

記

第一 方針

一、大東亞共榮圈ニ於ケル物價政策ハ茲ニ大東亞建設會議ニ於テ

審議決定サレタル大東亞金融財政及交易基本万策ニ依レバ

(一) 大東亞ヲ通ズル生産ノ増強、物資ノ交流、勞務ノ調達ヲ圓滑ナラシメ且大東亞經濟建設ニ關スル各地域ノ負擔ヲ公正ナラシムルモノトシ

(二) 之ガ統制ニ付テハ各地域ノ實情氏度ニ應ゼシムルニ在リ

三、而シテ右ニ基キ益富リ採ルベキ万策ハ

(一) 阜歐ニ於テハ支那事變勃發以來ノ低物價堅持ノ方針ヲ持續シツツ戰時ノ生産増強ノ要諦ニ應ジ之ヲ取高度ニ可能ナラシムベキ價格形成万策ヲ樹立スルト共ニ物價ニ關聯アル財政、金融、産業、運輸、勞務等各方面ノ施策ノ低物價堅持ノ方針ニ指同セ

シメ

(二) 圈内各地域ニ於テハ皇國ノ低物價堅持ノ方針ニ照應シツツ各
地域ノ産業事情、民度等ヲ調査シタル物價政策ヲ樹立シ以テ戰
争遂行上緊要ナル物資ノ生産増進、物資交流ノ圓滑化並ニ各地
域民生ノ安定ヲ圖リ

(三) 皇國ト圈内各地域及各地域相互間ノ價格差ヲ調整スル爲メ東亞
ヲ通ズル交易並ニ價格調整機構ヲ整備シ以テ戦争遂行力ヲ増強
スルニ在リ

第二 皇國ニ於ケル價格形成方針並ニ之ニ關聯シ考慮スベキ方針
大東亞戦争ヲ完遂スルカ爲メニハ強入ナル生産力ヲ有スル米英ニ對

抗シ車需資材ノ補給ヲ完璧ナラシムルカ如ク生産力ノ飛躍的増大
ヲ圖リ以テ經濟戰刀ヲ極度ニ昂揚スルノ要アルコト云フヲマタザ
ルトコロナリ、生産増強ニ付テハ支那半島勃發以來政府ニ於テハ
最モ刀ヲ致シ就中生産増強ト低物價トノ調整ニ付テハ昭和十六年
八月物價對策審議會決定ノ「低物價ト生産増強トノ調整ニ關スル
件」ニ基キ着々實施ニ努メツツアルモ今日ノ情勢ニ於テハ既定ノ
方策ヲ更ニ強刀ニ遂行スルノ要アリ、即チ官民ノ戰時責任意識ノ
下ニ計畫生産ヲ確保スルノ借道ヲ講スルト共ニ徹底セル生産ノ台
埋化ヲ圖ルコト肝要ナリ、而シテ生産ニ關スル如上ノ要請ノ實現
ヲ前提トシ現行價格ニ再檢討ヲ加フルヲ適當トスルモ結局原價ノ

昂騰ヲ免レザル場合ニ於テ之ヲ其ノ儘市價ニ反映セシムルトキハ
循環高ノ悪境家ヲ招來スベキヲ以テ生産者販買價格ト對需要者價
格トハ之ヲ分離シ生産者ニ對スル價格保障ヲ需要者ニ影響ナカラ
シムベキ万策ヲ考慮スルノ要アルベシ
而シテ右指直ト相呼應シ通貨面ニ對スル施策ヲ強化徹底シ通貨ノ
不富膨脹ヲ抑止シ餘剩収収ヲ圖リ此ノ方面ヨリノ物價ヘノ影響ヲ
絶無ナラシムル様強力ナル施策ヲ要スベシ

(一) 生産ノ台理化ヲ圖リ生産費ノ引下ヲ期ス爲特ニ留意スベキ點
概ネ左ノ如シ

(1) 生産ハ資材、勞務、運輸、燃料、電力、資金等ノ有機的結

台ニ依リ當マルルモノナルトコロ具ノ均衡アル配當行ハレザ
ル爲生産能率ハ減退スルト共ニ未働設備ヲ生ジ生産原價ノ騰
貴ヲ來セルモノ少カラサルモノ、如シ依テ政府ハ戦時ニ於テ
將ニ生産増強ノ安アル物資取ニ國民生活安定上ノ必須物資等
ノ生産ニ到シ資材、勞務、運輸、燃料、電力、資金等凡ユル
生産要素ノ配當ヲ時期的、數量的ニ均衡ナラシムベシ

(2) 高能率工場事業場ノ完全採業ヲ爲サシムル如ク生産割当ヲ
行フト共ニ低能率工場、事業場ノ生産要素ヲ高能率工場ニ轉
換活用シ以テ生産要素ノ效率的使用ヲ圖リ生産原價ノ低下ニ
努ムベシ

(3) 現下ノ情勢ニ於テ所期スベキハ生産設備ノ擴充ニ依ル生産量ノ増大ヨリモ寧ロ能率増進ニ依ル單位當生産量ノ増大ニ在リ之ガ爲政府ハ資材使用效率、労働能率等ニ關スル能率基準ヲ設クル等ノ方法ニ依リ設備、資材、勞力等ノ合理的效率的
使用ヲ徹底セシムベシ

尙之ガ實施ニ當リテハ能率増進者ニ對シテハ國家報償具ノ他凡ユル報償ヲ行ヒ又能率増進ニ依ル超過利潤ハ右報償ニ引當テシムベシ

(二) 軍需充足又ハ生産力強上ノ基礎資材等ノ價格ハ之ヲ生産者販賣價格ト對需要者價格トニ分離シ原則トシテ前者ニ付テハ生産

確保ノ爲必要限度ノ價格的保障ヲ與へ後者ニ到シテハ現行價格
ヲ維持シ現行價格體系ハ差當リ之ヲ維持シテ循環高ノ惡現象ヲ一
應阻止スルト共ニ生産増強ヲ可能ナラシムルコト肝要ナリ
而シテ生産者價格ト對需要者價格トノ差額ハ國家ニ於テ補償ス
ルヲ適當トスベシ

(三) 日用品ニ關シテハ國民生活ニ檢討ヲ加へ戰時國民生活ニ眞ニ
必要ナルモノヲ除キテハ其ノ製造禁止制限ノ措置ヲ繰ズルト共
ニ規格ノ單純化ヲ積極的ニ促進シ以テ資材ノ有效利用、公定價
格ノ維持勵行ニ資セシムルノ外實質簡素ナル戰時國民生活ノ確
立ヲ圖ルヲ適當トスベシ

厚力性ラモシテ
常陸河原トモト

(四) 食料品就中生鮮食料品ニ關シテハ最近ノ買情ニ鑑ミ量的ニ具

ノ生産ヲ確保スルノ外由街配給機構ヲ整備スルト共ニ計畫出荷

制度ヲ強化シ出荷ノ確保ヲ圖ルコト肝要ナリ

之ガ爲ニハ生産者價格ヲ設定スルト共ニ現行時季別價格ヲ更ニ

合理的ナラシムルノ要アリ又運賃ノプール計算制ヲ實施スルノ

外此ノ際中央卸賣市場ノ手数料ヲ引下ゲ之ガ爲ニ生産者ノ

利益ニ付テハ別途考究スルヲ適當トスベシ

(五) 低物價堅持ハ價格形成ノ基礎的要素タル運賃、賃金、電力料

等ノ安定ヲ絶對的條件トスルコト云フヲ俟タサルトコロナリ、

依テ之等ノ要素ニ付テハ當該部内ニ到スル統制ヲ徹底的ニ強化
シ生産計畫ニ即應セル諸計畫ヲ樹立シ具ノ間ノ齟齬ニ因ル經營
増高ヲ仰止スルト共ニ運賃、賃金、電力料等ハ嚴ニ現行水準ヲ
維持スル方針ノ下ニ左ニ依リ施策スルヲ適當トスベシ

(1) 運賃

戦争遂行ニ伴ヒ輸送ノ逼迫ヲ來シ運賃ノ昂騰ヲ來シツツアル
現狀ニ鑑ミ海陸ヲ通スル輸送能力ヲ取入限ニ發揮セシムル爲
左ノ如キ措置ヲ講ジ以テ極力輸送原價ノ低下ヲ圖リ現行運賃
ノ堅持ニ努ムベキモ尙現行運賃ヲ維持シ得ツルトキハ其ノ差
額ハ國家ニ於テ負擔スベシ

(イ) 船舶、機帆船、鐵道、小運送、荷役各相互間ニ於ケル有機的連絡ヲ密ニシ輸送能力ノ増大、輸送原價ノ低下ヲ圖ルコト

(ロ) 各種輸送機關ニ小運送及機帆船ニ付夫々強力ナル一元的統制機關ヲ整備シ具ノ合理的ナ運管ニ因リ極力輸送原價ノ低下ニ努ムルト共ニ必要ニ應ジ運賃共同計算制ヲ實施シ物會輸送ノ圓滑化ヲ圖ルコト

(ハ) 各地ニ於ケル港灣荷役統制機關ヲ一元的ニ連用シテ荷役ノ迅速化ヲ圖ルト共ニ右統制機關ヲ強化シテ勞務管理ヲ徹底的ニ強化シ且一般的勞務統制ヲ圓滑ナラシムル爲ニ荷役

人夫員ノ引下ヲ行フコト

(2) 賃金

勞務者ノ移動、勞働能率ノ低下等ニ依リ製品單位當勞務諸費ハ漸騰ノ傾向ニ在リ、依ツテ政府ハ賃金ノ現行水準ヲ維持スルト共ニ勞務税制ヲ一段ト強化シ之ニ伴ヒ勞務管理ノ改善並ニ能率増進ノ方策ニ新工夫ヲ凝ス一乃勞務者ノ生産擔當者タル名譽心ト責任意識ヲ昂揚セシメテ移動ノ防止及勞働能率ノ向上ニ遺憾ナカラシメ以テ製品單位當勞務諸費ノ低下ヲ圖ルベシ

右ニ關シ差當リ考慮スベキ事項左ノ如シ

(イ) 生産計畫ニ照應シ之ト阻礙セザル様適切且重點的ナル勞務ノ配直ヲ行フト共ニ不安不怠畢業ニ於ケル從業ノ禁止制限ヲ行フコト

(ロ) 生産手段ノ機械化ヲ圖リ流レ作業ノ採用ニ努ムルト共ニ生産分野ノ劃定ヲ徹底シ以テ勞務内容ヲ可及的ニ單純化シ製品ノ量及質ノ向上ヲ圖ルコト

(ハ) 各種ノ技能者養成設備ヲ整理擴充シ計畫的ニ技能者ヲ養成スル外轉職者並ニ徴用工員ノ訓練ニ付テ特段ノ考慮ヲ拂フコト

(ニ) 能率増進者ニ對シテハ國家設備具ノ他適當ナル報償ヲ行

フコト

(ホ) 現下ノ状態ニ於テ生産増強ヲ特ニ必需スル特定工場、事業場ノ勞務者ニ付テハ米、麥、味噌、醤油等生活必需食糧品及作業衣地下足袋等生産ニ必要ナル勞働用具ヲ潤澤ナラシムルト共ニ之ガ配給ノ確保ニ付特別ノ考慮ヲ爲スコト

(ハ) 永年勤続者ニ對シテハ昇進被傭會社株式ノ保有等適切ナル優遇策ヲ講ジ勞務者ノ定着化ヲ圖ルコト

(3)

電力科

生産計畫ニ照應セル電力配當計畫ヲ樹立シ其ノ圓滑ナル供給ヲ行フ外産業設備整備ヲ活用シテ發電施設ヲ急速ニ設クル等

ノ方法ニ依リ發單原價ノ低下ヲ圖ルベシ

(六)

國民生活ノ三要素ノ一タル住宅ニ付テハ甚シキ需給ノ不均衡ヲ招來シ之ガ家賃ノ騰貴ヲ來シツ、アル現状ニ鑑ミ遊休家等ノ積極的活用ヲ爲ス外土木建築ニ付統制ヲ強化シ住宅ノ計畫的配給特ニ勞働者住宅ノ供給確保ヲ圖ルト共ニ建築費ノ低下ヲ圖ルベシ

尙不動産ノ賣買價格ニ付テハ一部ニ付統制實施サレ居ルモ夫統制部分ノ偏上甚シク延イテハ家賃騰貴ノ原因トナリ又即統制部分ニモ甚影響ヲ及ボシ生産擴充並ニ國民生活ノ安定ヲ害スル憾アルヲ以テ是ニ全面的統制ヲ實施スルノ要アルベシ

補助金
手
手
手

(七)

車官需價格又ハ料金ト氏需價格又ハ料金トノ均衡ヲ圖リ車官
需價格又ハ料金ノ地位ニ依リ氏需ニ過度ノ負擔ヲ課スルコト無
キ様留意スルト共ニ車官需價格又ハ料金ノ牽引ニ依リ氏需價格
又ハ料金ノ引上ヲ來ササル様考慮スベシ

(八)

既述ノ政府ノ諸措置ノ結果補償金ノ増入ヲ來スコトヲ豫想セ
ラルルモ之ニ伴フ逋負ノ増大ヲ放任スルトキハ低物價ノ堅持方
針ハ此ノ面ヨリ儉察セラレ補償金制度ノ效用ヲモ失ハシムルノ
虞アリ、依テ政府ハ國庫ヨリ補償金ヲ支出スルニ當リテハ公債
其ノ他ノ方法ニ依ル等努メテ餘剩購買力ニ轉化セザル様留意ス

ベシ

(加) 近時價格、料金、賃金等ニシテ取高値ノ公定セラレタルモノ
必ズシモ完全ニ履行セラレ居ルトハ必ズ難キ事情ナルヲ以テ物
資配給統制ヲ一層強化スルコトニ依リ國民ニ必要ノ最低限ヲ確
保シテ違反行為發生ノ原因ノ除去ニ努ムルト共ニ國民精神ノ昂
揚、商業道德ノ向上ヲ圖リ凡他面取締ノ最全ヲ期スル等所謂顯
行為ノ根絶ヲ期スル爲適切ナル万策ヲ講スベシ

第三 國內各地域ニ於ケル物價政策

如上ノ措置ヲ講ジ皇國物價ノ健全ヲ期スルモ大東亞共榮圈ノ確立
ニ伴ヒ皇國ト國內各地域トノ經濟關係ノ緊密ノ度ヲ加フルニ至リ

具ノ結果皇國物價ハ國內各地域ニ於ケル物價ニ牽引サルル傾向ヲ
生ジツツアリ茲ニ於テ我國ノ價格形成方策ハ最早皇國ニ於ケル事
情ノミヲ考慮スルヲ以テハ足ラズ廣ク國內各地域ノ物價事情ヲ認
察スルニ非レバ具ノ島全ハ期シ難キモノトナレリ、且又國內各地
域ニ於ケル生産ノ増強、民生ノ安定ハ經濟活動ノ基底タル物價ノ
健全ヲ確保スルニ非サレバ到底望ミ得サルノミナラス各地域相互
間ノ物資ノ圓滑ナル交流ハ大東亞ヲ通スル一元的物價統制ヲ前提
トシテ初メテ可能ナリ依ツテ政府ハ皇國ノ大東亞ニ於ケル核心タ
ル地位ニ締ミ皇國ノ指導ノ下ニ國內各地域ノ物價政策ヲ皇國ノ低
物價方針ヲ基準トシ強力ニ遂行セシムル様考慮スルヲ要ス

而シテ圈内各地域ノ政策ハ各地域ニ於ケル経済ノ發展段階、民衆
其ノ他ノ實情ニ應ジ多元的ニ考慮スルコト肝要ナリ

圈内各地域ノ物價政策概ネ左ノ如シ

一、滿洲ニ於ケル物價政策

滿洲ニ於テハ夙ニ低物價ノ方針ノ下ニ物價政策ヲ遂行シ來リタル
モ日滿經濟關係ノ益々緊密ノ度ヲ加ヘ來リタル境下ノ狀勢ニ鑑ミ
諸般ノ政策ヲ低物價方針ニ集中セシメテ物價政策ノ徹底的強化ヲ
圖リ少クトモ對日供給物資ニ付テハ我方物價水準ト同一ナラシム
ベキヲ目途トシ全般的ニ物價水準ノ低下ヲ圖ルコト肝要ナリ
其ノ方策次ノ如シ

(一)

鐵產品及重工業品ノ生産ニ關シ生産諸要素ヲ動員集中シ之ニ
因リ生産ノ確保ヲ圖リ對日供給ノ完全ヲ期スルコト刻下ノ急務
ナルモ其ノ遂行ニ當リテハ極力生産ノ台地化ヲ行ヒ低物價トノ
調整ヲ圖ルノ外次ノ點ニ留意スルコトヲ要スベシ

(1)

勞務統制ヲ一攷ト強化シ勞務者ノ重點的配直ヲ行フト共ニ
資金ハ嚴トシテ現行水準ニ据置クコトヲ要ス
右ニ伴ヒ少クトモ基礎産業ノ勞務者ニ付テハ勞務者中生活必
需物資ノ配給ヲ確保スル爲重要工場、事業場ニ對スル配給機
構ヲ整備シ之ニ因ル配給系統ヲ確立スルト共ニ二重價格制度
ノ特定價格ヲ適用シ以テ勞務者ノ生活ヲ確保スルト共ニ勞務

者生沽費ノ膨長ヲ來スコト無キ様留意スベシ

(2) 生産及輸送施設ノ機械化ヲ行ヒ勞務内容ヲ努メテ單純化シ以テ勞務能率ノ向上ヲ圖リ製品ノ量及質ノ向上ヲ期スルコト

(3) 滿洲ニ於ケル生産設備ハ概ネ新設ノモノニシテ且其ノ地盤的條件不利ナル爲其ノ建設費比較的高位ニ在リ從ツテ生産原價ノ高位ハ免レザルトコロナリ、依ツテ滿洲ニ於ケル國家緊要産業ニ對シテハ産業設備營團ヲシテ主要企業ノ生産設備ノ建設ニ當ラシメルコトヲ進出トスベシ

但シ鐵業ノ設備建設ニ付テハ産業設備營團ノ進出トスルニハ困難ナル事情アルベキヲ以テ此ノ業種ニ付テハ滿洲鐵ニ於テ

産業設備の増進に似て、機械の設置高価に依る生産原價の騰貴ヲ抑制スル様考慮スルコト

(4) 如上ノ方策ヲ講ズルモ生産強行ニ因リ生産原價ノ昂騰スル場合ニ於テハ週止價格ノ設定ヲ考慮スベキモ之ニ依リ全般的價格體系ヲ破壊スルコト無キ様措置スルコトヲ安シ少クトモ對日供給物資ニ付テハ國庫又ハ經濟平衡會金ニ於テ補償シ對需要者價格ノ安定ヲ圖ルコト

(二) 輕工業品及日用品ハ生活ノ必需品タルヲ以テ重ノ面ニ於テ最少必要限度ヲ確保スルト共ニ價格面ニ於テモ慎重ナル考慮ヲ要スルハ勿論ナルモ必要ニ應ジテハ一重價格制ヲ考慮スベシ

其ノ方策概ネ左ノ如シ

- (1) 共榮圏内各地域ノ供給状況ニ鑑ミ可及的國內目給ヲ目途トシ
シ現地生産ノ増強ヲ期スルコト
右ノ實施ニ當リテハ努メテ土着資本ノ活用ヲ圖ルト共ニ既存ノ工場ヲ善用此ニ日本ニ於ケル遊休施設ノ活用ヲ期スルコト
- (2) 濶洲ニ於テハ配給段階ノ單純化ニ努メツツアルハ妥當ナルモ之ヲ更ニ強力ニ遂行スルト共ニ企業ノ整備ヲ行フコト
- (3) 二重價格制ヲ實施シ浮動購買力ノ吸收ヲ圖ルト共ニ之ヲ財源トシ總計平均資金ヲ設ケ價格調整ヲ行ヒツツアルハ妥當ナルモ其ノ實施ニ當リテ全般的物價水準ノ騰貴ヲ來スコト無キ

稼穡ニ留意シ特ニ基礎産業ノ勞務者等特定階層ニ對シテハ
低位價格ヲ適用スルコトトシ之カ爲必要ナル施策ヲ強力ニ實
施スルコト

(三) 農産物ハ瀋洲經濟ノ根基タルト共ニ瀋洲農業ガ大東亞共榮圈
ニ於ケル地位極メテ大ナルニ鑑ミ特ニ具ノ生産ノ増加ヲ圖ルト
共ニ極力坑行水準ノ維持ヲ圖ル爲次ノ如キ指直ヲ考慮スルコト
ヲ要ス

(一) 農法ヲ改善シ要スレバ農業ノ機械化等ヲ圖リ生産量ノ増大
ヲ圖ルコト

(二) 農産物作付ヲ治用スル外既存鬼河機械ノ機能ニ鑑ミ之カ改

善利用ヲ圖ルト共ニ輕工業品及日用品ノ配給ヲ出荷促進ニ資
スル如クナラシメ出廻リノ圓滑化ヲ圖ルコト

(四)

運賃ハ資金ト相並ビ價格形成ノ基礎要素ナルヲ以テ其ノ變動
ハ價格體系ヲ破壊スル虞大ナリ依ツテ運賃ハ少クトモ現行水準
ヲ維持スルト共ニ軍用貨物運賃トノ均衡ヲ圖リ軍用貨物運賃ニ
依リ民需貨物運賃カ適當ノ負擔ヲ負ハサル様符ニ留意スベシ

(五)

生活必需品ハ配給諸方策ニ依リ生産ノ増加ヲ圖ルト共ニ之カ
適正配給ヲ行ヒ生活ノ最低限ノ保障ニ努ムベキ也戰爭遂行ニ伴
フ國內各地域國民ノ負擔ヲ公平ナラシムル爲生活ヲ可及
的ニ調整ナラシムルコト肝要ナリ、之カ爲必要ナル加算ノ考案

スベシ

(六) 貯蓄ヲ奨励スル外浮動購買力ノ吸收ヲ圖ル爲富藏、馬券等ノ
活用ヲ圖ルベシ

(七) 滿洲經濟ノ實情上租稅ハ概テ間接稅ノ形式ニ依リツツアルモ
之ニ對シ再檢討ヲ加ヘ生活必需品ニ對スル細稅率ノ輕減ヲ圖ル
等具ノ運用ニ當リテハ物價政策トノ關聯ヲ考慮スベシ

(八) 物價統制ヲ更ニ強化スル趣旨ニ於テ物價統制ニ關スル行政機
構ノ整備強化ヲ圖ルベシ

(九) 經濟取締機構ヲ強化スルト共ニ取締ノ廢止ヲ圖リ又特ニ民間
ノ目的的取締ヲ施行セシメ必要ニ應ジテハ選座制ノ制度等ヲ考

應スベシ

二 北支ニ於ケル物價政策

北支ノ物價ニ關シテハ對日供給物資ノ圓滑ナル供給及軍ノ目活
ヲ目途トシ資金凍結以前ノ物價水準ヘノ引下ヲ目標トシテ現在ノ
異常ナル騰貴シ一婦女定セシムルコト緊急ノ要務ナリ、之カ爲ニ
ハ次ノ如キ産業各方面ニ渉ル綜合物價政策ヲ急速且強力ニ遂行ス
ルコトヲ要スベシ

(一) 華北人ノ民度竝ニ經濟ノ發展段階ニ鑑ミ且現在ノ異常ナル騰
貴ノ原因ヲ思惑取引ノ横行ニ存スルコトヲ考慮スレバ取敢ヘス
暴利ノ取締ヲ目的トスル法令ヲ公布シ心理的ニ價格騰貴ヲ抑止

スルコト取モ安富ナリ

(二) 暴利取締ト平行シテ急速ニ適正價格ヲ設定スルコト肝要ナル
モ農産品等ニ付テハ鬼尙ノ現状ニ鑑ミ市場陳作ノ方法ニ依ルヲ
安富トス而シテ統制ノ對象タル物資及地區ハ物價ノ關聯性ニ鑑
ミ能フ限り普遍的ナルヲ要スルモ未統制物資又ハ未統制地區存
スル場合ニ於テハ左ノ措置ヲ能フ限り講ジ部分的統制ノ弊ヲ減
スルヲ要ス

(1) 未統制物資ノ生産ニ付テハ原材料ノ使用制限禁止ヲ行フト

共ニ過大利益ニ付賦課金徴収等ノ方法ヲ採用スルコト

(2) 鬼尙配給統制ヲ強力ニ行ヒ統制地區ヘノ物資流入ノ圓滑化

ヲ圖ルコト

(三) 資金、運賃、電力料等價格形成ノ基礎要素ニ付テハ嚴ニ現行

水準ヲ維持シ家員等ニ積極的ニ引下ヲ行フベシ

尙資金ニ付取引ノ發生ジタルトキハ現物供與ヲ行ヒ貨幣給與ノ

引上ハ絶對ニ抑止スベシ

(四) 鬼荷配給機構ヲ整備シ恩給取引ヲ抑制スルト共ニ敵匪地區へ

ノ物資流出ヲ絶絶シ毎日供給及現地自給ニ遺憾ナキ様留意スル

コト肝要ナリ

特ニ皇國具ノ他國內諸地域ノ供給力ニ鑑ミ食糧品及生活必需品

ニ電力現地自給ヲ行フト共ニ消費抑止ヲ勵行スベシ

(五) 交易價格ノ調整ノ爲ノ調整科以外ノ調整科又ハ之ニ類似セル
モノハ北支物價高ノ一因ヲ爲スモノナルヲ以テ將來ハ之ヲ廢止
スル目途ノ下ニ物價統制ノ進展ニ際シ漸次低減ヲ計ルト共ニ過
去ニ積立テタル金銀ハ價格調整ニ用フルヲ妥當トス

(六) 物價統制ヲ一元的ニ爲シ得ルガ如キ強力ナル機構ヲ急速ニ整
備スベシ

(七) 前記物價統制機構ト密接ナル連絡ヲ有スル強力ナル取締機構
ヲ設クル外俵甲制度ヲ活用スル等ノ方法ニ依リ經濟統制ニ關ス
ル取締ヲ強化シ統制ノ運用ニ遺憾無キヲ期スベシ

三 中支ニ於ケル物價政策

中支ニ於ケル物價新舊法幣ノ切替後種々ノ對策双ヲ奏シ漸ク安定
ニ同ヒツツアルモ之ノ情勢ヲ持續シ更ニハ新舊法幣切替前ニ於ケ
ル水準ヘノ引下ヲ行ヒ到日供給力ノ増強單ノ自活及民生ノ安定ヲ
圖ルガ爲ニハ急速且強刀ニ綜合的對策ヲ講ズルノ要アリ
其ノ要點左ノ如シ

- (一) 現在既ニ公布サレ居ル暴利行為取締規則ヲ最大限ニ活用ス
ル外之ト平行シテ適止價格ヲ可及的廣範圍ニ設定スルト共ニ中
支經濟ノ實情ニ鑑ミ配給機關ヲ動員シ物資ノ賁付、貯藏、放出
等ヲ行ヒ所謂市場操作ニ對シ極ニ重點ヲ置クベシ
- (二) 賁金、彈賁、電力料等ノ價格極度安寧ニ付テモ新舊法幣切替

前ノ水準ヲ自達トシ急遽ニ積極的引下ヲ圖ルベシ

(三) 市場操作ヲ完璧ナラシムルト共ニ需給ノ抜本的調整ヲ圖ル爲

左ノ指直ヲ急遽ニ講スベシ

(1) 物資ノ生産ヲ計畫的ニ増強シ其ノ鬼荷ヲ確保スルコト

(2) 國內各地域ヲ南万ヨリノ原材料確保ニ努メ現地産業ヲ復

興シ現地供給力ノ増大ニ努ムルコト

(3) 鬼荷、配給、交易ヲ調整スル爲一元的機構ヲ設クルコト

(4) 占領地内ニ於テハ物資ノ計畫的移動ヲ行フト共ニ敵匪地區

ハノ物資流出ハ嚴ニ取締ルコト

(5) 配給機構ヲ整備シ思然取引ノ餘地無カラシムルコト

(6) 生活必需品ニ付テハ消費税止ヲ行フコト

(四) 交易價格調整ニ非ラサル調整科又ハ之ニ類似セルモノハ中支物價高ノ一因ナルヲ以テ(將來ハ之ヲ廢止スル目途ノ下ニ)物價統制ノ進展ニ懸ジ漸次低減ヲ計ルト共ニ過去ニ積立タル金額ハ價格調整ニ用フルヲ安當トス

(五) 速ニ新法幣ヲ基調トスル進取策ヲ樹立シ具ノ流通擴大ニ最大ノ努力ヲ傾注スルト共ニ資金政策ヲ案審シ極力浮動資金ヲ吸收シ思惑取引ノ絶滅ト呼應シ資金ノ生産面ヘノ動員ヲ圖ルベシ

(六) 通貨、金融、經濟ノ各般ノ施策ヲ物價統制ヘ指向セシメ具ノ一元的運営ヲ爲シ得ル様機構ノ整備ヲ圖ルベシ

(七) 經濟統制ノ取締ニ關シテハ北支ニ於ケルト同様強力ナル取締

機構ヲ設立スルト共ニ保甲制度ノ活用ニ努ムベシ

四 南方占領地域ノ物價政策

南方占領地域ノ境地通貨表示ノ物價ハ當初ニ於テハ比較的安定シ
居リタルモ通貨ノ放出、物資ノ減少ニ伴ヒ漸騰ノ傾向ニ在ルヲ以
テ之ニ對シテハ重要物資ノ取得、單ノ目括ヲ主眼トシ更ニハ民生
ノ安定ヲ目途トシ事柄ニ對策ヲ講ジ極力低物價ノ線ニ沿フコト肝
要ナリ

依ツテ政府ハ大凡左ノ如キ措置ヲ考慮スベシ

(一) 物資ノ存在ヲ確保シ消費統制ニ依リ消費遷延ヲ講ジ之ト共ニ

生活必需品 稼穡ノ整備等ニ依リ配給ノ制消適正ヲ計ルベシ

(二) 集中生産品 (主トシテ銀産品) ノ價格ハ原價ニ適正利潤ヲ加

算シテ定ムルモ一般物價ノ漸騰ニ伴フ資金短絀經營ノ難貴ニ對シテハ適宜買上價格ノ改訂ヲ行ヒ旬クモ生産ヲ阻害スルカ如キコトナカラシムベシ

(三) 鑛山勞務者ノ資金ニ關シテハ米、綿布、燐寸等生活必需品ノ現物給與制ヲ實施シ以テ貨幣給與ノ抑制ヲ圖ルベシ

(四) 分散生産品 (主トシテ農林産品) ノ中ゴム、砂糖、植物油脂等ハ原則トシテ任氏生活ヲ著シク不安ナラシメザル限り低價格ニ定ムベシ

五 内地ヨリ送付スル物食現用万諸地域相互間交流物資ノ價格ハ
生活必需品ヲ除キテハ適宜ノ送付トシテノ效果アラシムル如ク
政策的ニ定ムベシ

六 現地生産現地消費品ノ價格ハ任氏生活ヲ考慮シ可及的低物價
堅持ニ努ムベキモ原價ノ高騰ヲ來ス場合ハ適正價格ニ以テ採算
割レヲ來スコト無キ様留意スベシ

七 日本人ニ對シテハ住宅給與、生活必需品ノ現物支給制度ヲ實
施シ生活ノ安定ヲ待セシムベシ尙必要ニ應ジテハ下級官吏ニ付
テモ右制度ヲ適用シ生活ノ安定ヲ圖ルト共ニ貨幣給與ノ増大ヲ
抑制スルコト妥當ナルベシ

(八) 價格形成ノ基礎要素タル地價、家賃、料金、金利等ニ歸シテハ特ニ強力ナル統制ヲ行ヒ可及的現行水準以下ニ維持スルコト
肝要ナリ

(九) 不急不安ノ事業ハ出來得ル限り制限スルト共ニ誅罰、公債、貯蓄、富強、馬券等ニ依リ浮動購買力ノ収収ニ努ムベシ
十 物價政策ノ統一アル運用ヲ爲シ得ル如ク機械ノ整備ヲ圖ルベシ

第四

大東亞共榮圈ヲ通スル價格調整方策

右方策ヲ講ジ圈内各地域物價ノ均衡化ヲ圖ルモ各地域特ニ大陸ノ現狀ニ鑑ミ各地域間ノ價格差ハ依然存スベク右ハ皇國ノ低物價ヲ

直接脅カスノミナラス國內各地域ノ物價ヲ動搖セシメ間接的ニ呈
現ニ波及スルノ虞アルノミナラス斯ル價格差ノ存在ハ物價ノ交差
ヲ不調和ナラシムルモノナリ故ニ於テ爲督政策等ヲ勘案シツツ
内地地域間ノ價格差ヲ調整シ各地域相互間ノ物價ヲ隔絶スル爲ニ
大東亞ヲ迴スル交易ニ價格調整機構ヲ考究スルノ要アルベシ
而シテ現在ニ於テ對支輸出ニ付價格調整制度ヲ行ヒツツアルモ
交易機構ノ統一ノ缺如ト調整制度ノ不完全ニ依リ價格調整ハ必ズ
シモ完璧ナラス、國內ノ高物價ノ影響カ我國ニ波及シツツアリ、
依テ交易機構ヲ一元化スルト共ニ交易ト一體トナリ價格差ヲ完全
ニ排除シ以テ綜合的價格調整ヲ行フノ要アリ

其ノ万策左ノ如シ

- (1) 現在ノ交易機權ヲ統合シテ一元酌交易機權ヲ設ケ國內全交易物會ノ輸出入、保及配分ヲ行フコト
- (2) 右交易機權ハ自己ノ計算ニ於テ輸出入ヲ行ヒ國內各地域間ノ價格差ヲ完全ニ彌補スルト共ニ右價格差ハ各種物會ニ涉リ綜合的ニ調整シ以テ各地域物價ヲ完全ニ遮断スルコト
- (3) 右ニ件ヒ現地輸出入機權ヲ整理シ右交易機權ニ統合スルカ又ハ之ト不可分ノ關係ニ直キ國內各地域間ノ交易統制況ニ價格調整ヲ一元酌綜合的ナラシムルコト
- (4) 右機權ノ價格調整~~原~~ハ原則トシテ收支均衡ヲ保ツヲ理想ト

スルモ左邊リハ相違ノ又出越過ヲ察想セララルヲ以テ國派ニ
於テ之ヲ補償シ以テ價格調整ノ爲全ラ期スルコト